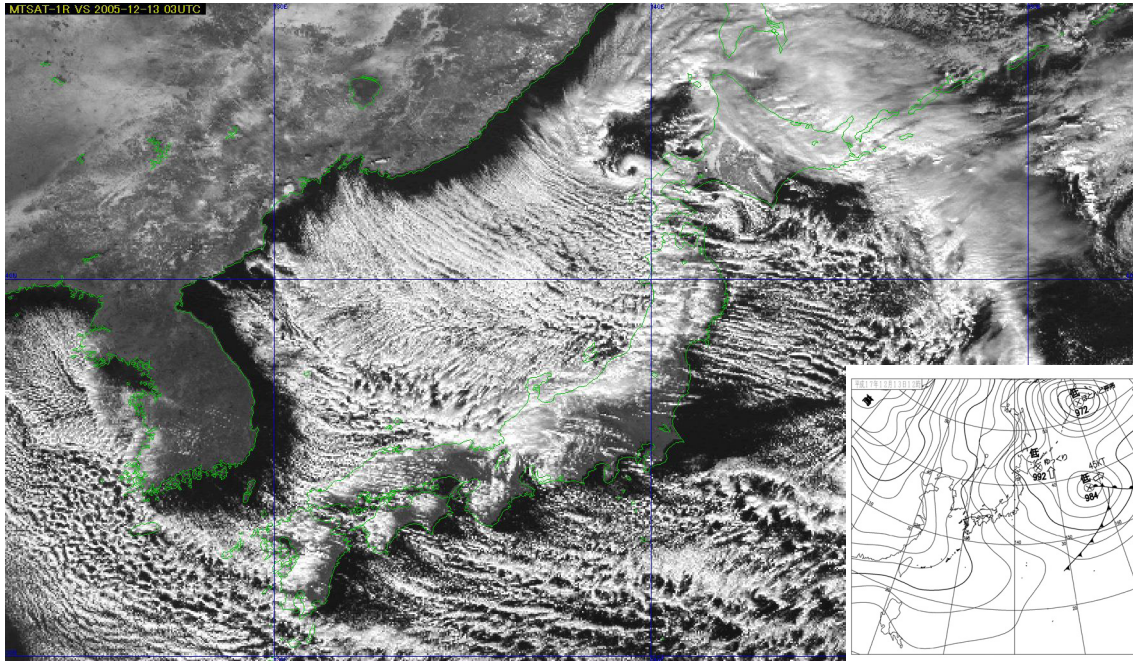


今月の気象衛星画像 (2005年12月)



2005年12月13日12時の可視画像と同時刻の地上(速報)天気図

日本海側の大雪と寒気の吹き出しによる筋状雲

12月は、真冬並みの強い寒気移流が持続し北日本から西日本の日本海側を中心に大雪となり各地で月や年の最深積雪を更新した。

写真は12月13日12時の可視画像である。日本海付近に着目すると、北は北海道の西から南は黄海まで筋状の対流雲が大陸の海岸付近まで明瞭に発生しているのがわかる。雲画像からは、この筋状の対流雲と大陸との離岸距離が非常に狭いことから寒気移流が非常に強いことを示唆している。この時実況でも輪島上空500hPaでは -36°C を観測するなど、寒気移流が強まっていた。

この強い寒気移流のため、北陸地方では平野部でも多い所で一日におよそ50cmの強い降雪があった。特に12月で全国一の積雪を記録した新潟県津南町では13日の積雪が116cmから195cmとなった。

(気象衛星センター)